

旧国鉄高砂線 高砂北口駅



旧国鉄高砂線の高砂北口駅は現在の山陽電車高砂駅から道を隔てた南側にあった。高砂線は大正2（1913）年、高砂と加古川間に開通。加古川駅で山陽本線・加古川線に接続していた。

高砂北口駅は通勤、通学等、多くの人々に利用されていたが、昭和の中頃になると、車の普及等により利用者は段々と減り、昭和59（1984）年に廃線となった。跡地は駐輪場や遊歩道として利用されている。

